

—わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い—
ミュージアム都留からのお知らせ

企画展「ちょっと昔の道具と機械」展 6月29日(日)まで

★展示品紹介(2)★

謄写版

孔版印刷という印刷方法の1つで「ロウ紙」という特殊な紙に、先端が鉄でできた「鉄筆」で文字や絵を描きます。描いた部分は紙の塗料がけずれ落ちて「透かし」となります。こうしてできた「原紙」を木枠に張って上からインクを塗ると「透かし」の部分だけインクが透過して、文字や絵が印刷されます。原紙とインクさえあれば、電気などがなくても印刷が可能であるのが特徴です。

黒電話機

黒い本体と受話器を特徴とした、ダイヤル通話式の電話機です。昭和8年に採用された3号電話機から、昭和25年の4号、昭和38年の600形、昭和53年に登場した601形の4種類があります。

カセット式テープレコーダー「MICRO-PACK35」

昭和38年に三洋電機から発売されたカセット式テープレコーダーです。昭和35年の初めころ、それまでのオープンリール式テープレコーダーを使いやすく改良するため、発表されたカセット式テープレコーダーのひとつで「リム駆動」という珍しい方式でテープを動かしているのが特徴です。



謄写版



黒電話機



MICRO-PACK35

時 間 午前9時～午後5時

観覧料 一般300円、高校・大学生200円、小・中学生100円

※20名以上の団体は3割引

※チケットは増田誠美術館(分館)と共通券となっています。

休館日 毎週月曜日、第3火曜日、祝祭日の翌日

問合先 ミュージアム都留 ☎(45)8008 FAX(45)8201

次回企画展のお知らせ

夏休み子ども企画展開催

期 間 7月19日(土)～8月24日(日)

内 容 おもちゃとあそびをテーマに展示会を開催します。子どもから大人まで楽しめる企画展です。

郷土屋教室

○民俗講座

開講日 6月8日、7月13日の各日曜日

内 容 都留市における冠婚葬祭の習慣やその心について理解を深めます。

講 師 安富一夫

○歴史講座

開講日 8月10日、9月14日の各日曜日

内 容 「茶壺蔵跡か」と関心が寄せられている勝山城跡発掘調査に合わせて、茶壺道中を歴史的に解明します。

講 師 内藤恭義

古文書教室

開講日 10月12日、11月9日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日の各日曜日

内 容 ミュージアム都留及び西桂町所蔵の古文書を社会的・歴史的な背景を踏まえて解説を試みます。

講 師 武井一郎(10・11月)、清水正賢(12・1月)、小林安典(2・3月)

共通事項

時 間 午前10時～11時30分

会 場 ミュージアム都留研修室

勝山城のなぞに迫る！

調査も今年で最後となります。そこでこれまでの調査成果を振り返ってみたいと思います。まず、勝山城跡では、大きな発見はお茶壺蔵らしき遺構と本丸東照宮の裏で確認された石垣です。石垣は打ち込み剥ぎ積みで、甲府城に匹敵する非常に強固な作りをしています。16世紀末の浅野氏重の時代のものだと考えられます。続いて中津森館跡では、調査箇所から幅約8mの堀が確認されました。出土することが稀な中国の青磁なども調査で確認しました。堀の底は掘っていくと水が湧き出て、トレンチ内は水で満たされました。このことから小山田氏の時代は堀が水で満たされていたことが想像でき、一帯が現在でも泥堀と呼ばれる所以であると考えられます。今年度の調査も成果が出るよう取り組みたいと思います。

～次回企画展のお知らせ～

パリジャン百態①

会 期 6月14日(土)～9月28日(日)

カフェに憩うパリジャン、休日にダンスに興じる人々描いた色紙や油彩画を展示します。カフェで、いきいきと暮らす人々の姿をご覧ください。

モンパルナスは、パリのセーヌ川の左岸にある地区。20世紀前半、モンパルナスのカフェやバーには、多くの芸術家たちが集まり、芸術論を戦わせていました。この作品は、サロン・ドートンヌに出品したものです。



モンパルナスのカフェ